

## 「令和7年度金沢大学がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点研究成果報告会」を開催

令和8年2月10日

令和8年2月10日（火）、共同利用・共同研究拠点事業の一環として「令和7年度金沢大学がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点研究成果報告会」を開催しました。報告会は、中村 慎一金沢大学理事（研究・社会共創・大学院支援担当）の挨拶に始まり、今年度に当研究所との共同研究課題として採択された 57 研究課題の中から 10 課題の研究代表者、坪田 庄真先生（名古屋大学 大学院医学系研究科）、室 龍之介先生（東京理科大学 生命医科学研究所）、柴 綾先生（筑波大学医学医療系）、田中 美和先生（がん研究会 がん研究所 がんエピゲノム研究部）、松田 史生先生（大阪大学大学院情報科学研究科）、笠原 敦子先生（東北大学大学院生命科学研究科）、山本 雄介先生（国立がん研究センター研究所 病態情報学ユニット）、飯間 麻美先生（名古屋大学大学院医学系研究科）、劉 学瑩先生（川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター）、園下 将大先生（北海道大学 遺伝子病制御研究所）による研究成果報告が行われました。報告会には、学内外の研究者並びに大学院生ら約 100 人が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。今回の成果報告会での交流が、今後のがん研究のさらなる発展につながることを期待されます。



開会挨拶 中村 慎一 理事



進行 平尾 敦 教授

### 【共同研究成果報告 1】



座長 中山 瑞穂 准教授



名古屋大学 坪田 庄真 先生



東京理科大学 室 龍之介 先生



筑波大学 柴 綾 先生



(公財)がん研究会 田中 美和 先生



大阪大学 松田 史生 先生

### 【共同研究成果報告 1】



座長 本宮 綱記 准教授



東北大学 笠原 敦子 先生



国立がん研究センター研究所 山本 雄介 先生



名古屋大学 飯間 麻美 先生





(公財)川崎市産業振興財団 劉 学瑩 先生



北海道大学 園下 将大 先生



閉会挨拶 鈴木 健之 所長



全体写真

# 共同利用・共同研究拠点 研究成果報告会

13:00 開会のあいさつ 中村 慎一 (理事 (研究・社会共創・大学院支援担当)・副学長)

## 共同研究成果報告1

13:10

### 小児がん神経芽腫における自然退縮機構の解明

坪田 庄真 (名古屋大学 大学院医学系研究科 助教)

13:30

### mRNA-LNP型がんワクチンの機能検証と T細胞動態の解析

室 龍之介 (東京理科大学 生命医科学研究所 助教)

13:50

### TTF-1陰性非小細胞肺癌における 代謝脆弱性とゲノム不安定性のクロストーク

柴 綾 (筑波大学 医学医療系診断病理学 准教授)

14:10

### 希少がんのエンハンサー異常を 標的とするエピゲノム編集治療の開発

田中 美和 ((公財) がん研究会 がん研究所がんエピゲノム研究部 主任研究員)

14:30

### ノンターゲットリポドミクスを用いた 乳がん細胞株のサブタイプ間比較解析

松田 史生 (大阪大学 大学院情報科学研究科 教授)

14:50 休憩

## 共同研究成果報告2

15:10

### オルガネラ接点と 細胞運命決定制御メカニズム

笠原 敦子 (東北大学 大学院生命科学研究所 助教)

15:30

### 1細胞発現解析による 肺がん微小環境の指向性の解明

山本 雄介 (国立がん研究センター研究所 病態情報学ユニット 独立ユニット長)

15:50

### 乳がん移植モデルにおける拡散MRIパラメータと 組織病理学的特性の相関

飯間 麻美 (名古屋大学 大学院医学系研究科 特任教授)

16:10

### 腫瘍へのactive targetingを目的としたリガンド化 PRDM14 siRNA/YBC (uPIC) による 卵巣癌・腹膜播種に対する精密RNAi治療

劉 学瑩 (公益財団法人 川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター 主任研究員)

16:30

### 膵がんと腸内細菌叢との関わり解明

園下 将大 (北海道大学 遺伝子病制御研究所 教授)

16:50

開会のあいさつ 鈴木 健之 (金沢大学がん進展制御研究所・所長)

17:20

研究交流会 会場: YABU&CAFE丹 (自然科学系図書館南福祉施設2F)

2026.2.10 [火]

開催時間 13:00-17:00 (受付 12:30)

## 会場

金沢大学ナノ生命科学研究所  
4階 Main Conference Room  
(住所: 石川県金沢市角間町)